

「三洋社員を」 < 今なお続く、パナソニックによるリストラ > 辞めなかったら日勤教育…許されません

退職に追込むやり方やめて！」

パナソニックは今年1月の事業統合にむけて、昨年、希望退職や勤務地の移動を伴う配置転換など大々的な人減らし・リストラを実施してきました。

その主舞台となつたのが完全子会社化されたばかりの三洋電機。多くの従業員が退職に追い込まれました。

しかし、リストラはこれで終わったわけではありません。いまなお「続いている」と言われているが、希望退職時や配置転換の際に「君の仕事はここにはない」「やっつてもらおう仕事がない」などと言われながらも、退職に応じなかった三洋社員です。

人によっては、研修センターのようなどころへ集められ、「自分にどういふスキルがあるか、何ができるか」などのレポートの提出を指示され、提出すれば「そんなもの先方は求めていない」とつき返されるなど、あのJRの「日勤教育」のようなことが行なわれているとのこと。

「私たちは、三洋電機でちゃんと仕事をしてきた社員であり、家族や生活のある人間だ。退職に追い込むようなやり方はやめて、スキルを生かした仕事を与えて欲しい」との怒りの声が上がっています。

組合はひきつづき、全力で対応を

三洋社員の間から「いまなお、リストラは続いている」との声が聞かれます。三洋の労働組合は従業員を守るために事業統合後も引き続き、組合員を守るため力を発揮することが求められています。

そのためには
・異動した人が異動先で不利益な扱いを受けていないか追跡調査する。

・実態があれば、組合が前面に出て、労働者のスキルや希望が尊重されるよう、実現に努力する

ことなどが大切です。労働者の仕事と生活を守るため全力を尽くしましょう。

毎日、パナソニックの社歌や七精神などを唱和させられている。こんなふる〜い体質の会社とは知らなかった。こんな管理された会社から独創的な技術が生まれるだろうか？ パナと私の将来が心配です！（大東）

研修と称して、レポートを提出させ、提出するとイチャモンをつけて、書き直せ！ こんな、JRの清算事業団や日勤教育のようなやり方はやめてほしい。（守口）

定年まで残すところ一年でリストラに遭い40年近く務めたサービス会社をやむなく退社しました。『貴方には働く職場がない』でした。今後三洋・パナソニック製品は購入しません。リストラ等、労働組合は当てにならないので国会でどんどん取り上げるよう切に願います。

（元・三洋電機サービス社員）

多くの方が退職したので、その人達がやっていた仕事の穴埋め、フォローが大変。残業もする必要あるが許される雰囲気ではない。

（大東）

退職に追込
むやり方やめて
ほしい！



発行者：電機労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20
Tel: 03-3455-6006 FAX: 03-3451-3595

編集：三洋電機労働者懇談会
発行 2012年2月（号外）

Electric Labor and Industry Correspondence
ELIC

（三洋電機版）

退職強要をうけたら ご相談を

電機・情報ユニオン

電話：03-3455-6006（東京）
090-9714-8780（関西）

メール：info@denki-union.org